

2026 年度「A L S 基金」研究奨励金公募要綱

2025 年 12 月 12 日

一般社団法人 日本 A L S 協会

1. 趣 旨

一般社団法人日本 A L S 協会では一日も早い A L S（筋萎縮性側索硬化症）の克服と患者の医療及び福祉の向上に資するため、「A L S 基金」研究奨励金を公募します。

2. 公募課題

(1) 分野 I

- ① A L S の原因究明に関する研究
- ② A L S の治療法に関する研究

(2) 分野 II

- ① A L S 患者の福祉機器開発に関する研究

例えば ・ 重度の意思疎通障害者用意思伝達装置の開発
・ 在宅療養で介護負担が軽減する介護機器の改良
・ 外部バッテリーなど非常時の電源確保に関する研究

- ② A L S 患者の看護、介護向上、療養環境の整備・改善に関する研究

例えば ・ 介護職等の痰吸引等の医療的ケア支援体制の構築
・ 地域におけるコミュニケーション支援体制の構築
・ 栄養、呼吸、疼痛、リハビリテーションなどの改善研究
・ レスパイト入院、ケアハウス等の在宅医療を支える施設の実践研究
・ 心のケア、精神的サポートに関する研究
・ 当事者によるピア相談支援等の取り組みの構築・研究
・ 介護報酬、診療報酬の調査検討や障害者総合支援法の活用策の検討

3. 交付予定額及び件数

- (1) 分野 I : ・ 1 件につき 300 万円以下を 2 件

※選考の結果、該当なしとなる場合もあります。

※組織による研究にのみ交付されます。

- ・ 1 件につき 100 万円以下を 3 件程度

- (2) 分野 II : ・ 1 件につき 100 万円以下を 2 件

※選考の結果、該当なしとなる場合もあります。

- ・ 1 件につき 50 万円以下を 3 件程度

4. 応募資格

日本国内でALSに関係している専門職、ボランティア等、資格は問いません。

5. 応募要件

- (1) 研究期間は最長2年間とします。
- (2) 分野Ⅰの300万円の奨励金については、組織での研究を対象とし、代表者が応募するものとします。個人での研究は交付対象となりません。
- (3) 同一研究テーマで他の助成金と重複した受領は、原則として認めません。
- (4) 機器、備品の購入のみを目的とする場合は、対象になりません。
- (5) 研究成果の発表のための旅費以外の交通費は、対象になりません。
- (6) 同一研究室からの複数の応募は、原則として認めません。

6. 応募手続

- (1) 申請書は、当協会のホームページからダウンロードしてください。
- (2) 2025年2月10日(水)までに送付ください。
 - ・郵送の場合は当日消印^注、宅配などの場合は送付状の受付日付有効
 - 注：投函時刻によっては消印が投函翌日の日付になりますので、ご注意ください
 - ・送付先は、「11. 申請書の提出先及び問い合わせ先」参照
- (3) 申請書および添付書類は返却いたしませんので、予めご承知おきください。

7. 選考及び決定通知

当基金の選考委員会において審査・選考し、5月上旬に申請者に結果を通知します。
お電話での結果の問い合わせにはお答えできません。

8. 選考委員(50音順、敬称略) ※選考委員は、追加される可能性があります。

【注記】 *1：分野Ⅰの選考、*2：分野Ⅱの選考、*3：分野Ⅰ及びⅡの選考

青木 正志^{*1} 東北大学大学院医学系研究科神経内科 教授
石山 麗子^{*2} 国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 教授
和泉 唯信^{*1} 徳島大学 大学院 医歯薬学研究部 臨床神経科学分野 教授
漆谷 真^{*1} 滋賀医科大学 医学部医学科長 脳神経内科学講座 教授
岡本 幸市^{*1} 公益財団法人老年研究所 所長
岡野 栄之^{*1} 慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター センター長・教授
小野 寺理^{*1} 新潟大学脳研究所長
川崎 涼子^{*2} 長崎大学生命医科学域(保健学系) 准教授
川田 明広^{*3} 東康明会病院 脳神経内科 医師

木村 格^{*3} 社会福祉法人 函館厚生院ななえ新病院 脳神経内科 医師
近藤 清彦^{*3} 社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 脳卒中・脳神経センター 顧問
佐々木 彰一^{*3} あがの市民病院 神経内科 部長
渋谷 智恵^{*2} 公益財団法人日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程 課程長
嶋守 恵之^{*2} 一般社団法人日本 ALS 協会 相談役
祖父江 元^{*3} 愛知医科大学 理事長
高木 憲司^{*2} 和洋女子大学 家政学部 家政福祉学科 准教授
田中 栄一^{*2} 国立病院機構北海道医療センター
中島 朋子^{*2} 一般社団法人全国訪問看護事業協会 常務理事
中山 優季^{*2} 公益財団法人東京都医学総合研究所 社会健康医学研究センター 難病
ケア看護ユニット 副参事研究員

9. 奨励金の交付、他

6 月開催予定の 2026 年度定時総会での授与式（出席は任意）以後に交付いたします。

10. 研究成果等の報告

- ・2028 年 3 月 31 日までの研究が終了した時点で、最終報告として研究成果の報告書及び会計報告並びに当協会会員や一般の方を対象とした抄録を提出していただきます。
- ・最終報告書の提出が 2027 年 4 月以降となる場合には、中間報告書のご提出をお願いします。なお、最終報告書を 2027 年 6 月末日までに提出する予定の場合は、中間報告のご提出に代えて、提出予定日をメール等でお知らせください。
- ・研究成果の報告会を開催いたします。
- ・本研究の成果を他誌に発表する場合は。事前に協会の承認を得た上で行い、「日本 ALS 協会 ALS 基金の助成による」（英文の場合には Sponsored by ALS Foundation, Japan ALS Association）旨を書き添えていただきます。

11. 申請書の提出先及び問い合わせ先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-1-7 カーサ九段 405
一般社団法人日本 ALS 協会 事務局（担当 岸川・福原）
TEL : 03-3234-9155
FAX : 03-3234-9156
Eメール : jalsa@alsjapan.org
Eメール : jalsa@alsjapan.org

以上